

今週のフレーズ&ワード

set the tone for～

～～を方向付ける、～の流れをつくる～

世界的にキャッシュレスが進む中、アジア諸国にも水をあけられ「キャッシュレス後進国」のレッテルを貼られた日本。政府は、2027年までにキャッシュレス決済比率を世界基準の40%まで引き上げる目標を掲げています。

日本の現金文化の不便さを最も実感しているのは、旅行者などの外国人でしょう。それなりの文化背景や事情があるとはいえ、不便さを感じているだけに、「オリンピックを来年に控え、どこまで改善するのか」といったキャッシュレスの話題は、外国人との会話のきっかけづくりに役立つでしょう。

The introduction of a rebate program is expected to **set the tone**

for a cashless society.

ポイント還元策の導入がキャッシュレス社会を方向づけるとわれています。

set the tone for～は「～を方向づける、～の基調・流れを」つくるという熟語 tone (調子・トーン) を set (設定する) と考えると、わかりやすいですね。ある出来事がきっかけとなって、大きな流れや雰囲気を作るときに使われます。

rebate はそのまま「リベート」ともいいますが、何かを販売したり取引が成約したりしたときに受け取る「一定の比率の手数料」のことです。

Fintech companies are eager to **set the tone for** a digital-payment culture.

フィンテックの会社は、電子商取引の文化を根付かせようと頑張っています。

FinTech はスマートフォンなどの IT の技術を活用した金融商品、サービスのことで、金融 (finance) と技術 (technology) を組み合わせた造語です。

be eager to～には、意欲的で熱心であることに加えて、急いでやろうとしているニュアンスがあります。そのため「しきりに～したがつている」「～したくてたまらない」などと訳すことがあります。

Messi's early goal **set the tone for** the rest of the game.

メッシの序盤のゴールが、その後の試合の流れを作りました。

とくにスポーツには「流れ」とか「雰囲気」がつきものですから、set the tone がピッタリくる状況が起こります。early goal とは試合開始後 15 分以内に入れたゴールのこと。ちなみに、終盤のゴールは late goal、試合終了間際のゴールは last-minute goal といいます。

単語・熟語チェック

- rebate 割り戻し、奨励金 be eager to～ 熱心に～しようとしている
 fintech フィンテック(IT を活用した金融サービス) early goal 序盤のゴール